

令和7年度
シラバス

教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅡ	単位数	4
-------	------------------	-----	---

学年・クラス	2 学年 (<u>必修</u>) ・ 選択)	担 当 者	江 藤 淳 哉
使用教科書	LANDMARK Fit Communication English II (啓林館)		
使用副教材	LANDMARK Fit Communication English II WORKBOOK (啓林館)、 速読英単語 入門編 (Z 会)		

目 標

1. さまざまな言語活動に取り組むことを通して、基礎的な知識を定着し、主体的に活用する力を身につけます。 2. 英語を聞いたり読んだりすることを通して、情報を収集・分析し、活用する力を身につけます。 3. 英語を話したり書いたりすることを通して、情報を自分なりにまとめ、表現する力を身につけます。 4. 英語で日本や世界のことを学ぶことを通して、広い視野で多様な考えを理解しようとする力を身につけます。
--

授業の内容・進め方

授業の内容：英語で身の回りのことについて学ぶことで、コミュニケーションに必要な4技能（聞く、読む、書く、話す）をバランスよく学習します。 進め方：教科書とワークシートを主に授業を進めます。紙資料とデジタル資料の両方を活用します。 授業に必要なものは、 <u>教科書・各自の ICT 端末（・速読英単語）</u> です。 考 査：単元の終了後、ペーパーテストとパフォーマンステストで学習内容の習熟度合いを図ります。 留 意 点：ペアやグループでの学習を基本に授業を進行します。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	【知識】 外国語の音声や語彙、表現、文法、文化などについて理解を深めている。 【技能】 外国語に関わる知識を、4技能を用いた実際のコミュニケーションにおいて適切に活用している。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況、話題などに応じて、外国語で情報や考えなどの概要、要点を的確に理解し、それらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	身の回りの事象や世界の文化に関する理解を深め、聞き手、読み手、話して、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を活用しようとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	ワークシート	△	◎	◎
	小テスト	◎	△	○
	課題（週末・長期休み）	○	○	◎
	ペーパーテスト	◎	◎	△
	パフォーマンステスト	◎	◎	◎

- ・ **観点別評価** 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。
 A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する
- ・ **評価・評定** 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

指導計画及び身につける力

学期	月	単元	文法事項	身につける力			
				聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
前期	4 5	Lesson1 A Swedish Girl' s Discoveries in Japan	不定詞 動名詞	・モノローグを聞いて、概要や要点をつかむ。	・必要な情報を読み取り、要点や筆者の意図を把握する。	・聞いたり、読んだりした内容について簡単に話す。	・短いストーリーを書くことができる。
	5 6	Lesson2 A Message from the Emperor Penguins	現在完了 助動詞の受身 間接疑問文	・モノローグを聞いて、概要や要点をつかむ。	・必要な情報を読み取り、要点や筆者の意図を把握する。	・相手とやりとりをしながら話す。	・関心のある内容について調べてまとめる。
	6 7 8	Lesson3 Tokyo' s Seven-minute Miracle	分詞 形式主語 形式目的語	・説明文を聞いて、概要や要点をつかむ。	・具体例や根拠を読み取りながら、筆者の主張をつかむ。	・事物について具体例をあげながら説明をする。	・具体例や根拠をあげながら自分の考えを表現する。
後期	9 10	Lesson5 Gaudi and his Messenger	分詞構文 知覚動詞 付帯状況	・説明文を聞いて、概要や要点をつかむ。	・事実を読みとり、必要な情報を選別する。	・事物について画像やスライドをもとに説明する。	・自分の考えとその理由を合わせて表現する。
	10	Lesson6 Edo:A Sustainable Society	関係代名詞 使役動詞 完了形	・説明文を聞いて、概要や要点をつかむ。	・具体例を読みとり、抽象的な内容の概要や要点をつかむ。	・自分の考えを論理立てて伝える。	・自分の主張をサポートする。
	11 12	Lesson8 AI and Our Future	仮定法過去 仮定法過去完了 as if～	・説明文を聞いて、概要や要点をつかむ。	・対比の構造を読みとり、筆者の主張をつかむ。	・現実に対して仮定の話をする。	・段落の構成を考えながら自分の考えを表現する。
	1 2 3	Optional Lesson Language Change over Time	探究学習 プレゼンテーション	・説明文を聞いて、概要や要点をつかむ。	・話の筋道を意識して読み取り、筆者の主張をつかむ。	・自分の主張を論理構成と表現方法を伝える。	・自分の主張が適切に伝わるよう、論理構成や文のつながりを考えて書く。